



千川中 学校だより 10月号

令和8年10月2日 発行

豊島区立千川中学校

豊島区千早2-39-16 学び舎びいす

TEL 03-5995-6150

逆算の思考・目指すものに向かって

校長 岡泉 美和子



先月24日、生徒会選挙が行われ、新たな生徒会が発足しました。合わせて、各委員会も後期に引き継がれ、2年生は3年生からバトンを受け継ぎ、1年生をリードしながら、さまざまな取組の中心となって動き出そうとしています。

さて、2学期が始まってひと月が経ちました。先月の学校だよりで「時間のゆとりは、心のゆとりにつながる」と書きました。今回は「心のゆとりが、自分の意識や関心を目の前のことから、もう少し先のことに向けられるようになる」という話をします。先のことに目を向けるということは、自分の目標をしっかりと見つめ、意識をすることです。目標が決まったら、実現するために取り組むべき方法を具体的にひとつ・ふたつと考えていきます。これは、ゴールから「今、取り組むべきことは何か」を考えるという「逆算の思考」です。アスリートの中には、逆算の思考を行いながら目標達成までをイメージし、自分が叶えたい目標に向かって、一步一步近づき、成し遂げていく人があるという話を聞いたことがあります。

世界的に有名な選手、メジャーリーガーの大谷翔平選手について、こんなことを読んだことがあります。大谷選手は、高校1年生の時にゴール達成までにやりとげるべき取組を81個のマスの中に具体的に書き込んでいきました。その時の大谷選手が将来に抱いたゴール(目標)は、「ドラフト1位で8球団から指名される」というものでした。大谷選手がマスに書き込んだことは、「コントロールを強化するためには「体幹強化」、キレを良くするためには「回転数アップ」、変化球のためには「スライダーのキレ」と「フォークの完成」、他にも人間性を高めるためには「継続力」「本を読む」「思いやり」「道具を大切に扱う」「審判さんへの態度」「あいさつ」「部屋のそうじ」「応援される人になる」などでした。自分自身でゴールまでのシナリオをつくり、それらを実践することにより、目標に近づいていくという考え方でした。最初の目標は、次の大きな目標を生み、今もお挑戦し続けています。成し遂げたいことのために、今何をしなければならぬかを考えて過ごしていく大切さを伝えてくれるエピソードです。

10月に入りました。3年生は、10月14日～16日にかけて、修学旅行(京都・奈良)へ出発します。錦秋の京都・奈良で貴重な文物の造形美を堪能したり、世界遺産の数々と対面したりすることで、壮大な時の流れと悠久の歴史を感じる学びの機会にしてほしいと思います。教科書で見た世界遺産が実際に目の前に現れているのです。「修学」とは、深く学び、成果や知識を自分のものにすること、まさに修学旅行の本来の目標です。3年間ともに学んだ仲間と過ごす時間を大切にしてください。

また、10月31日には文化祭が開催されます。夏季休業前から実行委員会が組織され、クラス合唱も広島派遣報告や吹奏楽部演奏、アートクラフト部展示発表も着々と練習・準備が進められています。クラス合唱では唯一無二のハーモニーを聴かせるために、これから集中した準備期間に入っていきます。千川中学校の文化祭、全校生徒で目指す目標に向かって力を合わせ創り上げていきましょう。

保護者・地域の皆様におかれましては、生徒たちの頑張りをぜひご覧いただき、その成長を感じていただければ幸いです。

生徒会役員選挙

9月24日に、新たな千川中学校生徒会のメンバーを決める【生徒会役員選挙】が開催されました。

立候補者と応援演説者、そして選挙管理委員など、どの生徒も堂々と自分の思いを伝えたり、任された役割を務めたりしていました。

生徒たちの力で、とても引き締まった生徒会選挙とすることができました。



戦災語り部事業

小学生の頃に戦時中の広島で育ち、徐々に苛烈さを増す戦争や原爆投下、終戦を経験なさった語り部の方を招きました。

実際に経験をした方から様々な経験を紹介していただく貴重な時間になりました。



通常の整列だけでなく、椅子を並べての整列も、今年はビシッと縦横を揃えて素早く自分たちで並んでいます。

整然と並べるからこそ、落ち着いて学ぶことができ、聞く姿勢と力も伸びています。



セーフティ教室

行政書士の方々を招いて、ネットでの軽い気持ちでした言動が、後に大きな責任を伴う結果になることや、闇バイトの危険などについて、ロールプレイを交えながら教えていただきました。(写真はロールプレイの様子)

